

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	030103010100	事業の種類		5	
年度	30	事務事業名	防犯協会補助金事業	予算事業名	安全安心のまち推進事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともにつくる安全なまち		担当部局名	企画総務部危機管理課		
施策名(中)		犯罪のない安全なまちをめざす		担当課長	中津 尚	担当者名	大壁 幸二郎
取組み事項		防犯活動を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民、相生市防犯協会					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民一人ひとりが防犯への意識をもち、犯罪のない安全で安心した生活を送ることができるまちを目指す。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		防犯協会や警察等の関係団体と連携し、パトロールや啓発活動を通じて防犯意識の高揚を図る。また、ハード事業として、防犯カメラ等の防犯設備設置に対して補助を行う。				
活動実績	項目	単位	28年度実績	29年度実績	30年度実績	31年度計画
	防犯パトロール	回	488	488	488	480
	地域防犯設備設置補助	円	943,200円	996,500円	974,700円	1,000,000円
	防犯協会補助	円	1,000,000円	2,000,000円	2,000,000円	2,000,000円

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		28年度決算	29年度決算	前年比	30年度決算	前年比	31年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.026	0.028	108	0.028	100	0.029	104		
	参事以下職員	0.208	0.220	106	0.180	82	0.260	144		
	臨時職員	0.040	0.040	100	0.120	300	0.120	100		
支出内訳	人件費	2,019,986	2,174,432	108	2,040,140	94	2,722,984	133		
	事業費	1,018,020	2,999,140	295	2,982,620	99	3,021,000	101		
	合計	3,038,006	5,173,572	170	5,022,760	97	5,743,984	114		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	3,038,006	5,173,572	170	5,022,760	97	5,743,984	114		
	合計	3,038,006	5,173,572	170	5,022,760	97	5,743,984	114		

※ 事業の進捗状況

項目		28年度	29年度	30年度	31年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		主要幹線道路等への防犯カメラ設置台数							
指標説明(式)		主要幹線道路等への防犯カメラ設置延べ台数							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
台	目標	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	
	実績	1	2	200.0	4	200.0			
指標名2		地域への防犯設備補助件数							
指標説明(式)		補助件数(目標値:カメラ8万×2件=16万 防犯灯1.5万×56件=84万 計100万 58件)							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
台	目標	58	58	100.0	58	100.0	58	100.0	
	実績	82	68	82.9	96	141.2			

【効率性】

指標名1		人口1,000人あたりの刑法犯数							
指標説明(式)		(年間刑法犯数×1,000)÷人口							
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
件/1,000人	目標	3	3	100.0	3	100.0	3	100.0	
	実績	5	5	100.0	4	80.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	28年度	29年度	前年比	30年度	前年比	31年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(30年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	犯罪のない安全なまちを目指すため、防犯事業の実施は必要である。	4
	市の関与の妥当性	市や警察等の関係団体と協力し市民生活の安全を推進する活動を行う団体と協働することは必要である。	
有効性	成果の向上	防犯設備の設置が増えることで犯罪への抑止力となり、防犯環境の整備を図ることができた。	4
効率性	執行体制の効率性	防犯協会を介することにより、警察等関係団体との連携が効率よく図ることができる。	4
	手段の最適性	防犯設備の補助によりハード面の充実を図ることができる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	幹線道路への防犯カメラ設置は計画どおり推移している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	現在の計画では幹線道路等への防犯カメラ設置は、残り3ヶ所の設置で完了する。以降の取組みについて検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた31年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	防犯意識を高めるため、今後も継続して関係機関との連携、支援をしていく必要がある。

(2) 32年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	関係機関との連携、支援を継続して図っていく。				
見直事項	取組み内容を検証し、内容の充実を図っていく。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持



配点	32.5
総合評価	24